





由来を記した飾り板



「世界絶対平和萬歳」

「おはようございます」いよいよ今週から9月も終わり10月になります。早いもので、今年度も折り返し地点通過、3年生にとっては3月13日が卒業式ですから、もう通過点を過ぎていているという時期になっています。

さて、皆さん最近、ニュースなど見ていますか？神戸の小1児童殺害事件や御岳が噴火したこと等は知っていると思いますが、日本の安倍首相が先週、国連総会のためにニューヨークに行っていました。今日は国際連合のお話をしたいと思います。

国際連合は、世界平和の維持を目的のひとつにしていて、本部はニューヨークにありますね。これは国連本部の建物です。写真の右下に流れているイースト川に沿って国連の加盟国の国旗が掲げられています。その並びの順番は、国の名前の英語表記の頭文字の順と定められています。先頭はAのAfghanistan(アフガニスタン) 最後はZのZimbabwe(ジンバブエ)です。ちなみに日本の国旗(Japan)は85番目です。国旗を掲揚する時には守らなければならない国際的なマナーがあります。まず、このように複数の国旗を掲揚する場合、旗竿の高さを同じにしないなりません。また、一本の旗竿に複数の国旗を上下に並べて掲げることは、下のほうに掲げられた国を支配している扱いとする意味を持つので大変なマナー違反になります。その他様々な国旗についてのマナーがありますが、掲揚されるときは、自国・他国にかかわらず国旗に対して敬意を表さなければなりません。日本では、起立して脱帽し、姿勢を正し目礼をして敬意を表するのが一般的とされています。

この写真を見てください。1954年6月、日本が国連加盟を記念して国連に寄贈したもので「平和の鐘」と言って国連本部ビルの横にあります。当時の加盟国60カ国の子どもたちが集めたメダルやコインを鋳造して作られたものです。鐘の下には由来を記した飾り板があり、鐘には漢字で「世界絶対平和万歳」と書かれています。ニューヨークに行くことがあれば一度見て下さい。国連では年に2回、春分の日と9月の総会開幕日にこの鐘を鳴らすのが伝統になっているのだそうです。日本は第2次世界大戦後69年間平和を維持していますが、世界では、戦争や紛争が続いていますね。日本では、関心がない人が多いため「平和ボケ」とも言われますが、皆さんもたまにはニュース等で「平和」や「政界のこと」、「世の中の出来事」について、関心を持って考えてみる時間もとって欲しいと思います。

さあ、今週水曜日の10月1日は市内の教科研究会で本校は保健体育の会場となっています。2年1・2組男子以外は、午前中ですが中間テストも近いのでしっかり試験勉強をすることを期待してお話を終わります。